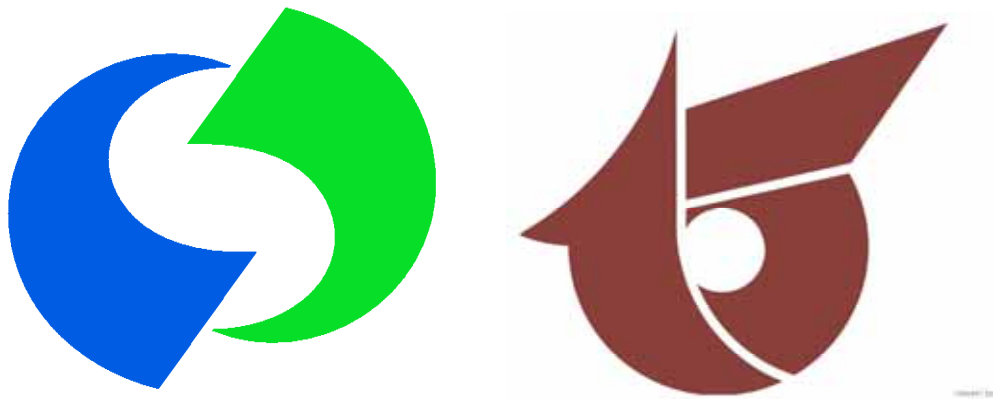


定住自立圏構想

中心市宣言書



平成 25 年 7 月 23 日

一関市

中心市宣言

本市は、東北のほぼ中心に位置し、仙台市と盛岡市の間であり、古くから交通の要衝として栄え、岩手県南の中核都市としての役割を担ってきました。

地方分権の進展により基礎自治体の責任範囲が拡大していく中、住みよい地域、また、自主・自立の地域づくりのため、平成 17 年 9 月 20 日に旧一関市、花泉町、大東町、千厩町、東山町、室根村、川崎村の 1 市 4 町 2 村が合併し、新「一関市」となり、また平成 23 年 9 月 26 日、藤沢町が合併し、現在の「一関市」となりました。

一関市と平泉町は、これまで生活圏、経済圏、文化圏を同じくする地域として、互いに連携し、協力し合いながら地域づくりに取り組んできており、「両磐地区広域市町村圏協議会」を設置し、広域的な課題に取り組むとともに、昭和 30 年代から「一関地方衛生組合」「東磐環境組合」「一関地方広域連合」「東磐広域行政組合」「両磐地区消防組合」を設立し、ごみ処理、斎場運営及び消防に関する事務などを共同処理してきました。現在、これらの事務は、消防については平泉町からの委託を受けて本市が、消防以外の事務については、本市と平泉町が組織する「一関地区広域行政組合」が実施しているところです。

今日、私たちは人口が減少する時代を初めて迎えており、本市と平泉町からなるこの圏域においては、その減少速度はさらに速く、急激な人口減少に伴う地域社会の活力の低下が危惧されるなど、人口減少と高齢化がさらに進む中で、現在の行政サービスの在り方を、時代にあったものに変えていくことが求められています。

また、人口減少社会へと進む中で、圏域の人口流出を抑えるための定住環境の整備も重要な課題になっています。

こうした中であって、地理的、歴史的に密接な関係にある本市と平泉町とが互いに連携し、それぞれの個性を生かした活力あるまちづくりを進め、圏域の課題解決を図る取り組みが必要となっています。

そこで、本市は、平泉町を含めた圏域のマネジメント等において、中心的な役割を担うとともに、圏域の住民に対し積極的に各種サービスを提供していくことをここに宣言します。

平成 25 年 7 月 23 日

一関市長 勝 部 修

一関市における都市機能の集積状況及び利用状況等

(1) 一関市の主な都市機能の集積状況

分野	都市機能	主な施設
医療・福祉	公的医療機関	県立磐井病院、県立千厩病院、県立大東病院、県立南光病院、市立一関市国民健康保険藤沢病院、市立一関市国民健康保険猿沢診療所、市立一関市国民健康保険室根診療所、市立一関市国民健康保険千厩歯科診療所、市立一関市室根歯科診療所、国立病院機構岩手病院
	初期救急医療機関	休日当番医制運営事業 夜間救急医療対策事業 (市と一関市医師会との間で委託契約により実施)
	二次救急医療機関	病院群輪番制病院運営事業 県立病院等8病院により輪番制で実施
	市内医療機関	病院10、一般診療所89、歯科診療所51 岩手県 - 平成22年保健福祉年報 (旧藤沢町含む)
	高齢者福祉施設等	指定介護予防支援事業所6、通所介護(デイサービス)施設44、認知症対応型通所介護施設3、小規模多機能型居宅介護施設5、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)施設22、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(小規模特別養護老人ホーム)施設5、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)13、介護老人保健施設(老人保健施設)7、サービス付き高齢者向け住宅4、軽費老人ホーム4、有料老人ホーム7、養護老人ホーム2、老人福祉センター3、生活支援ハウス2、在宅介護支援センター18
	障がい者福祉施設等	障害福祉サービス事業所33、障害者支援施設(入所)4、グループホーム・ケアホーム23、ケアホーム3、地域活動支援センター3、重症心身障害児(者)施設1、障がい者ふれあい交流施設1
	児童福祉施設等	保育所29、認定こども園4、へき地保育所4、児童クラブ16、児童館3、認可外保育所6、事業所内保育所4、養護施設1、子育て支援センター4、児童発達支援施設4、放課後等デイサービス施設3
教育	短期大学	(私立)修紅短期大学
	高等専門学校	国立高等専門学校機構一関工業高等専門学校
	高等学校	県立学校6、私立学校2
	特別支援学校	(県立)一関清明支援学校
	専修学校	県立一関高等看護学院、一関市医師会附属一関准看護高等専修学校、一関市医師会附属一関看護専門学校、一関経理専門学校、国際医療福祉専門学校一関校、東北ヘアモード学院

文化・スポーツ	文化・学習施設	一関市博物館、せんまや街角資料館、芦東山記念館、石と賢治のミュージアム、一関文化伝承館、一関文化センター、藤沢文化センター、大籠キリシタン資料館、公民館 31、市立図書館 8、いちのせき健康の森、花夢パル、千厩みなみ交流センターほか
	スポーツ施設	水泳プール 5、野球場 8、テニスコート 12、陸上競技場 1、多目的グラウンド 9、サッカー場 2、ソフトボール場 2、体育館 13、武道館 2、弓道場 1、キャンプ場 5、パークゴルフ場 1、スケート場 1 ほか
観光	観光施設	真湯温泉センター、骨寺村荘園交流施設、花と泉の公園、大東ふるさと分校、アストロ・ロマン大東、室根高原ふれあい牧場、千厩酒のくら交流施設、室根山天文台、望洋平キャンプ場、藤沢交流施設ほか
産業	工業団地	工業団地 28 団地
	誘致企業	誘致企業 103 事業所
	認定職業訓練校	一関高等職業訓練校、東磐高等職業訓練校
商業施設	大規模小売店舗	11 店舗
	事業所	卸売業・小売業 1,558 事業所
交通	高速道路	東北自動車道(一関 I C)
	鉄道駅	東北新幹線(一ノ関駅)、東北本線(5 駅)、大船渡線(13 駅)
	高速バス	一関 仙台
	国道	国道 4 号、国道 284 号、国道 342 号、国道 343 号、国道 346 号、国道 456 号、国道 457 号
	道の駅	かわさき(国道 284 号)、巖美溪(国道 342 号)
行政	国の出先機関等	盛岡地方検察庁一関支部、盛岡地方方法務局一関支局、一関簡易裁判所、盛岡家庭裁判所一関支部、盛岡地方裁判所一関支部、岩手河川国道事務所一関出張所、岩手南部森林管理署一関・須川森林事務所、一関税務署など
	県の出先機関等	県南広域振興局(一関総務センター、一関県税センター、一関保健福祉環境センター、一関保健所、一関農林振興センター、一関農林振興センター、一関土木センター、一関農業改良普及センター、県南教育事務所)、一関児童相談所、千厩高等技術専門校、一関警察署など
広域行政	消防	消防本部、消防署 4、分署 5、分遣所 1
	ごみ処理	一関清掃センター、大東清掃センター
	し尿処理	一関清掃センター、川崎清掃センター
	斎場	釣山斎苑、千厩斎苑

(2) 都市機能の利用状況

医療機能

ア 休日当番医制運営事業

項目	一関市	平泉町	その他	計
患者数	6,220人	445人	538人	7,203人

資料：一関市(平成24年度)

イ 病院群輪番制病院運営事業

項目	一関市	平泉町	その他	計
患者数	4,866人	341人	816人	6,023人

資料：一関市(平成24年度)

ウ 夜間救急医療対策事業

項目	一関市	平泉町	その他	計
患者数	1,760人	94人	85人	1,939人

資料：一関市(平成24年度)

商業機能

買い物動向の状況(品目総合：地元購買率・流出率)

居住地	購買地			
	一関市	平泉町	その他(県内)	その他(県外)
一関市	85.7%	0.9%	5.4%	8.0%
平泉町	36.4%	48.3%	14.7%	0.6%

資料：平成20年度岩手県広域消費購買動向調査

消防本部出動状況

(単位：件)

項目	出動先			合計
	一関市	平泉町	その他	
救急	5,789	349	31	6,169
火災	46	1	2	49
救助	101	5	13	119
合計	5,936	355	46	6,337

資料：消防本部調べ(平成24年中)

衛生

ア ごみ処理の状況

(単位：トン)

項目	一関市(注1)	平泉町	その他(注2)	合計	
搬入量	組合収集	25,899.90	1,628.27	0.00	27,528.17
	持込	12,347.27	686.83	261.47	13,295.57
	合計	38,247.17	2,315.10	261.47	40,823.74

(注1)一関市には旧藤沢町分を含む。

(注2)その他は被災地支援としての受入量である。

資料：一関地区広域行政組合(平成23年度)

イ し尿・浄化槽汚泥の処理状況

(単位：kℓ)

項 目		一関市(注1)	平泉町	その他(注2)	合計
搬入量	し 尿	70,589.68	4,247.44	3,630.90	78,468.02
	浄化槽汚泥	14,261.85	549.47	0.00	14,811.32
	合 計	84,851.53	4,796.91	3,630.90	93,279.34

(注1) 一関市には旧藤沢町分を含む。

(注2) その他は被災地支援としての受入量である。

資料：一関地区広域行政組合(平成23年度)

斎場の利用状況 (単位：件)

項 目	一関市(注1)	平泉町	その他	合計
火葬炉利用実績	1,985	137	528	2,650

(注1) 一関市には旧藤沢町分を含む。

資料：一関地区広域行政組合(平成23年度)

平泉町との連携が想定される取り組み

一関市として、平泉町との連携が想定される取り組みは次のとおりです。

(1) 生活機能強化に係る取組

医療

- ・地域医療体制の整備。
- ・医療従事者の確保対策。

福祉

- ・子育て支援の推進。
- ・高齢者や障がい者に対する支援体制の充実。

産業振興

- ・世界遺産「平泉」を中心とする観光の振興。
- ・企業の誘致や育成。
- ・圏域農産物のブランド化。

教育及び文化

- ・教育の充実。
- ・生涯学習やスポーツ活動の振興。
- ・「平泉の文化遺産」の拡張登録。

消防防災

- ・防災力の向上。

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る取組

地域公共交通

- ・バス等の地域公共交通の維持。

交通インフラの整備

- ・基幹道路の整備。

協働のまちづくり。

- ・行政、住民、各種団体等が相互に支え合うまちづくり。

地域内外の住民との交流、移住促進

- ・移住の促進。

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る取組

職員研修

- ・中心市等における人材育成。

外部からの人材確保

- ・専門的知識を有する外部人材の確保。

一関市への通勤通学割合が10%以上である市町村

市町村名	常住する就業者数及び通学者数 (A)	一関市への通勤・通学者数 (B)	通勤通学割合 (B / A)
平泉町	3,615 人	1,602 人	44.5%

平成 22 年 国勢調査結果

一関市への通勤・通学者数(B)は、一関市 (旧藤沢町含む) への人数